

地球惑星科学委員会IUGS分科会（第26期・第8回）議事要旨

1. 日 時 令和8年2月24日（火）16:00~17:00

2. 会 場 オンライン会議（ZOOM）

出席：堀 利栄、大久保 泰邦、奥村 晃史、掛川 武、片岡 香子、久保田 好美、黒柳 あずみ、齋藤 文紀、谷口 真人、中田 節也、益田 晴恵、北里 洋、川村喜一郎

欠席：西 弘嗣、上松 佐知子、木村 学

3. 議事内容

（1）IUGS EC 会議の報告と対応

大久保委員より、コロンビア大で 2026/1/22-23 に開催された IUGS-Latin America Geoscience Workshop および 2026/1/24-25 に開催された 82nd Annual Meeting of the IUGS Executive Committee (EC)についての報告があった。また掛川委員長および北里委員より、近年の予算配分の変化などについて情報共有があった。さらに齋藤委員より、近年の IGCP が特定の地域に集中している件についての情報提供があり、IUGS EC に対し近年の方針転換について説明を求める意見書や要望書を提出する方向で進めることとした。レター内容は、共同で出す可能性も視野に入れつつ、来月以降、メール審議で内容を詰めていくこととした。IUGS のロシアの扱いについての回答について議論し、継続審議とすることとした。

（2）地学雑誌記事への対応

掛川委員長より、2025/7/12 開催の日本学術会議主催学術フォーラム「急激に変わりゆく地球環境と国際情勢：地球惑星科学の国際連携・国際協調」における本分科会の講演内容を地学雑誌の総説記事として執筆予定である旨の報告があった。

（3）来年度の活動方針について

掛川委員長より活動方針についての説明があり、委員間で情報共有をした。

（4）その他

中田委員より、2026年11月発表予定の 3rd 100 IUGS Geological Heritage Sitesについての報告および情報提供があった。

谷口委員より、2029年度に日本開催予定の国際水文地質学会（IAH）および、2026/3/5-6 に名古屋大で開催するFuture Earth日本サミット開催についての情報提供があった。

齋藤委員より、2026年に中国で開催されるSTRATI 2026についての情報提供があった。